

American DJ®

MEGA FLASH DMX

取扱説明書

Ver1.02



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は American DJ Mega Flash DMX をお買い上げいただき誠に有難う御座います。製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使いいただく為にご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。なお、本書が保証書となっておりますので大切に保管して下さい。

ご使用になる前に取扱説明書を必ずお読み下さい。

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認して下さい。異常がある場合は販売店にご相談下さい。
2. 感電防止の為、使用中は部品に触れないで下さい。また、アース端子は必ず接続して下さい。
3. 各装置の設置を完了させるまでは電源を入れないで下さい。
4. ヒューズを交換する場合、必ず先に電源プラグを抜いて下さい。
5. 本製品は屋内使用専用です。屋外では使えません。また、雨天や湿気の多い場所での使用はお止め下さい。火災や感電の原因となります。
6. 本製品は精密電子機器です。絶対に水や雨などがかからないよう充分ご注意下さい。また本体の上に液体等をおかないで下さい。
7. 本機材は周囲の温度が 37 度以下の環境にて使用するようして下さい。適温のレベルを超えて使用した場合には、機材の寿命が短縮されたり、サーモ保護回路が働いて動作が止まったりすることがあります。
8. 必ず風通しの良い、壁から約 15 センチ以上離れた場所に設置して下さい。
9. 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意下さい。
10. 本体は通気性の良い所に設置し、周囲に可燃物や爆発物を置かないようご注意下さい。また、使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないで下さい。
11. AC100V、50/60Hz にてご使用下さい。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくは正規代理店に連絡して下さい。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

基本仕様

- 800W のランプ、ZB-800 を使用
- フラッシュ・スピードと明るさを調節可能
- フラッシュ・スピードを毎秒 1～15 回の範囲で設定可能
- サーモ保護回路搭載
- 調節可能な吊り下げ用アームを搭載

本体の接続

使用電源

Mega Flash DMX は定格電圧 AC100V、50/60Hz で使用して下さい。電源ケーブルをコンセントに接続する前に電源を確認して下さい。

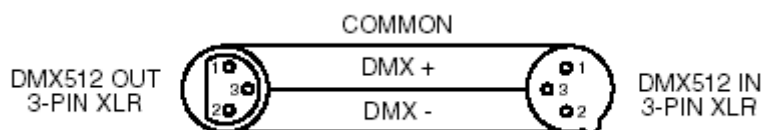
DMX-512

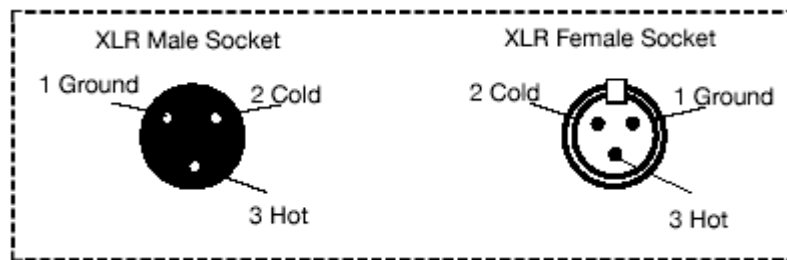
DMXは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行う為の世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の“DATA IN”、“DATA OUT”端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMX ケーブル

Mega Flash DMX は 2 チャンネル DMX ユニットです。DMX アドレスは本体の底面で設定して下さい。DMX コントローラーと DMX ユニットの接続は XLR 仕様のケーブルを使用し行います。DMX ケーブルを作る際は標準 2 芯シールドケーブルを使用して下さい。また、DMX ケーブルは並列接続することができません。必ず直列接続して下さい。

DMX ケーブルを作る際、以下の図を参照して下さい。





5ピン XLR 仕様の DMX コネクター

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクターの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクターを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクターを Mega Flash DMX に接続する際は変換アダプターをお使い下さい。

基本操作

スタンドアローン・モード

スタンドアローン・モードは Mega Flash DMX を単体で動作させるとき、又は複数台をそれぞれ独立して動作させる際に使用可能です。

1. 本体をスタンドアローン・モードで使用する際は、ディップスイッチ #9 と #10 をオフに設定して下さい。
2. 本体リアパネルにある調節ツマミを使用し、フラッシュのスピードと明るさを調節します。

サウンドアクティブ・モード

音楽に合わせてユニット単体が動作します。サウンドアクティブ・モードが動作している際、フラッシュの明るさはリアパネルの調節ツマミにより設定が可能です。尚、フラッシュのスピードは音楽のビートにより自動的に変化します。

1. 本体をサウンドアクティブ・モードで使用する際は、ディップスイッチ #9 をオンに設定して下さい。
2. 本体リアパネルにある調節ツマミを使用し、フラッシュの明るさを調節します。

DMX コントロールモード

DMX コントローラーを使用し本体を遠隔操作することが可能です。

1. Mega Flash DMX は 2 つの DMX チャンネルを使用可能です。2 チャンネルそれぞれの機能は以下を参照して下さい。

チャンネル 1:フラッシュのスピード

チャンネル 2:フラッシュの明るさ

2. 本体のディップスイッチにより DMX アドレスを設定し、ディップスイッチ#10 をオンにしてください。
3. DMX コントローラーのフェーダーを使って各機能を操作して下さい。

電球交換

電球を交換する際は必ず同じ型の電球と取り替えて下さい。決められたパーツ以外と交換した場合、保証対象外となりますので予めご了承下さい。

注:電球やヒューズが立て続けに切れる場合は、ユニットの使用を停止し、販売店、又は輸入代理店までご連絡下さい。

電球交換

本体ユニットに電源が入った状態で電球交換することは非常に危険ですのでお止め下さい。電球を交換するには必ず電源ケーブルをコンセントから外し、本体内部が冷めるまでしばらくお待ち下さい。

1. ユニットのフロントカバーにあるネジを外して下さい。
2. 電球の両端にネジによって固定されたセラミックブロックが取り付けられています。ネジをゆるめ、電球を取り外して下さい。この際、必ずワイヤーが接続されていた方法を覚えておいて下さい。
3. 電球の両側にあるツメを押して電球を引き出して下さい。
4. 同型の新しい電球と交換して下さい。
5. 3本のワイヤーを元の通りにセラミックブロックに接続し、ネジを締めて固定して下さい。

ヒューズ交換

ユニットの電源ケーブルを本体から外して下さい。ヒューズ・ホルダーをマイナスドライバー等で取り出し、ヒューズを交換して下さい。

メンテナンス方法

使用頻度に応じたメンテナンスを行って下さい。〈期間〉の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行って下さい。

※2 ガラスクリーナーやアルコールなどでのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用下さい。

外側のレンズ 〈一週間に一度〉

■レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行って下さい。

ファンおよび通気孔 〈一週間に一度〉

■ファンの動作不良、及び通気孔の目詰まりなどで内部冷却が行えない場合、内部温度が上昇し故障の原因となります。ファン等に埃や汚れが付着しますと正常な内部冷却が行えません。

→ベース部分やヘッド部分のファン及び通気孔についたチリやホコリを掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

電球ソケット部分 〈一ヶ月に一度〉

■電球ソケット部分に埃や汚れがつきますと、ショートの際、電球が切れやすくなります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。

信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口 〈一ヶ月に一度〉

■差込口部分に埃や汚れがつきますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認下さい。

ネジ <三ヶ月に一度>

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認下さい。

電球 <一ヶ月に一度>

■電球が正しく装着されていないと、埃やゴミが入り、ショートや電球破損の恐れがあります。また、電球はガラス球内部の圧力が高いものがあります。落としたり、物をぶつかけたり、傷をつけると破損/破裂の原因となります。

→規定の電球か、口金が錆びていないか、ヒビ等破損箇所がないかご確認下さい。

故障だと思ったら

電球が点灯しない

1. 電源ケーブルが定格電圧 AC100、50/60Hz のコンセントに接続しているか確認して下さい。
2. ヒューズが切れていないか確認して下さい。
3. 電球が正しく接続されているか確認して下さい。

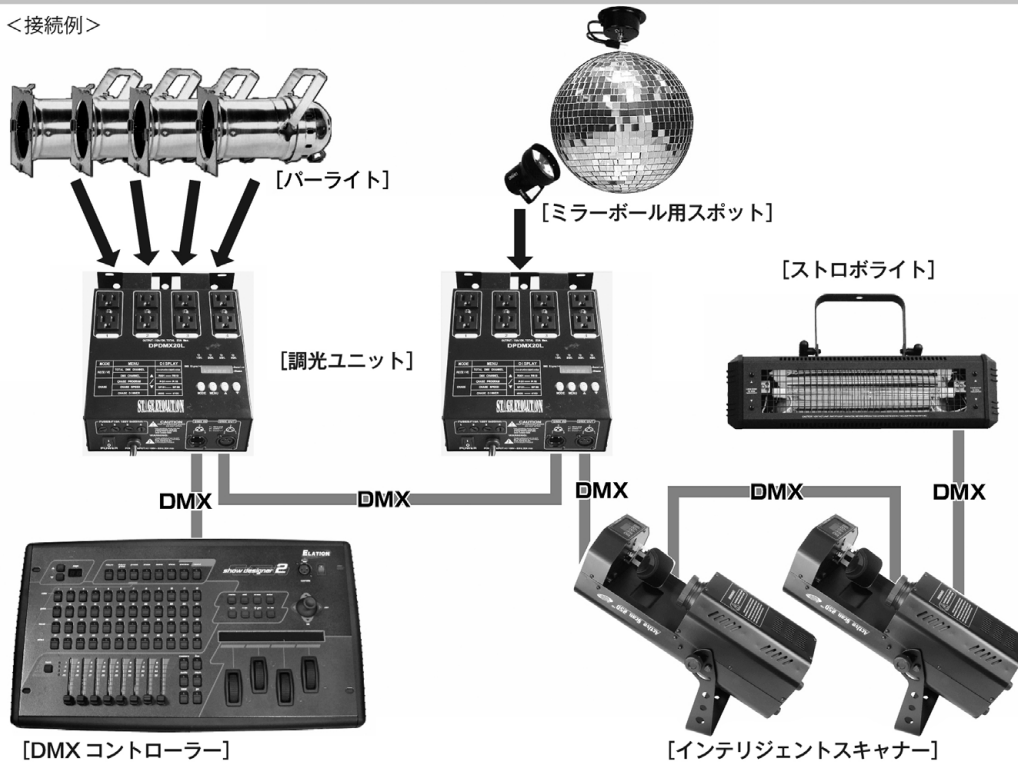
以上の点を確認後、なお電球が点灯しない場合は販売店、又は正規代理店にお問合せ下さい。

仕様

使用電源:	AC100V、50/60Hz
電球:	ZB-800
ヒューズ:	15A 250V
サイズ:	13.25cm(W) × 10.25cm(H) × 39.75cm(D)
重量:	2.2kg

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



- DMX対応の照明機器は、上の図の様に配線を行います。配線用ケーブルにはDMXケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。DMX対応のスモークマシーンも同様に接続可能です。
- DMX対応の照明機器を接続する順番は決まっていますが、なるべく距離が長くない様に配線を行って下さい(※)。
- 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト(PAR64やPAR38等)の明るさを調節します。
- インテリジェントスキャナーや、ストロボ等の電源は通常のコンセントからとって下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※一長距離の配線についてー

50mを超えるような配線になる場合、DMX信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続されたDMX対応照明機器の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照して下さい。

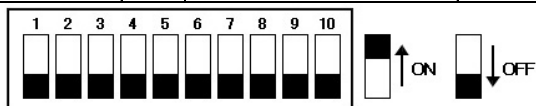
ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお勧め致します。</p>
	<p>自作される場合はオスのXLRコネクタを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

ディップスイッチによるチャンネル設定

ディップスイッチを使用してチャンネル設定を行う照明機器のチャンネル設定は、下記の表を参照して下さい。設定方法についての詳細につきましては次項の『ディップスイッチによる DMX チャンネルの設定方法 (詳細)』を参照して下さい。

Ch	ディップスイッチ設定						
1		19		37		55	
2		20		38		56	
3		21		39		57	
4		22		40		58	
5		23		41		59	
6		24		42		60	
7		25		43		61	
8		26		44		62	
9		27		45		63	
10		28		46		64	
11		29		47			• • •
12		30		48		128	
13		31		49			• • •
14		32		50		256	
15		33		51			• • •
16		34		52		512	
17		35		53			
18		36		54			



ディップスイッチによる DMX チャンネルの設定方法 (詳細)

DMX のスタートチャンネルをディップスイッチで決めるタイプはすべて二進法で計算されています。

<二進法とはなにか？>

通常私たちの生活では十進法が使用されています。十進法とは、0～9を使って数字を表わし、10になったら位を上げるという考え方です。二進法とは、0もしくは1を使って数字を表わし、2になったら位を上げるという考え方です。


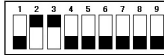


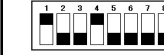
例をあげると

十進法	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
二進法	0	1	10	11	100	101	110	111	1000	1001	1010	1011

この様になり、二進法計算のディップスイッチでチャンネルを決める場合、『0=OFF 1=ON』の考え方になります。

スイッチの設定上 ON / OFF の並びが左右逆での繰り上げで設定となりますが、スイッチで表記した場合




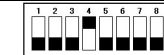

十進法	0	1	2	3	4
二進法	0	1	10	11	100
ディップ スイッチ					

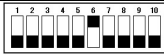




十進法	5	6	7	8	9
二進法	101	110	111	1000	1001
ディップ スイッチ					

このようになります。

また、位の大きいチャンネルを設定する場合、下記の方法を覚えておくと簡単にチャンネルの設定が可能となります。



各番号のスイッチのみ ON にした場合


十進法	1	2	4	8	16
二進法	1	10	100	1000	10000
ディップ スイッチ					

十進法	32	64	128	256	512
二進法	100000	1000000	10000000	100000000	1000000000
ディップ スイッチ					



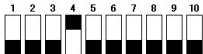

となりますが、通常の10進法と同様に、足し算ですべてのチャンネルを即座に計算することが可能となります。またその場合、全ての計算において、設定したいチャンネル数を上記の『各番号のスイッチのみを ON にした場合』にある、1, 2, 4, 8, 16, 32, 64, 128, 256 の数字に分解して考える必要があります。



例にとってみると

チャンネルを40に設定したい場合： $40 = 32 + 8 =$  $+$  $=$



チャンネルを62に設定したい場合： $62 = 32 + 16 + 8 + 4 + 2 =$

 $+$  $+$  $+$  $+$

 $=$ 

この様にして、簡単にチャンネル数を設定する事が可能となります。

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱いが不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

American DJ®